

2019年5月29日 慶応大学「障害者雇用の現状と将来」
国立がん研究センター・障がい者雇用の取組み



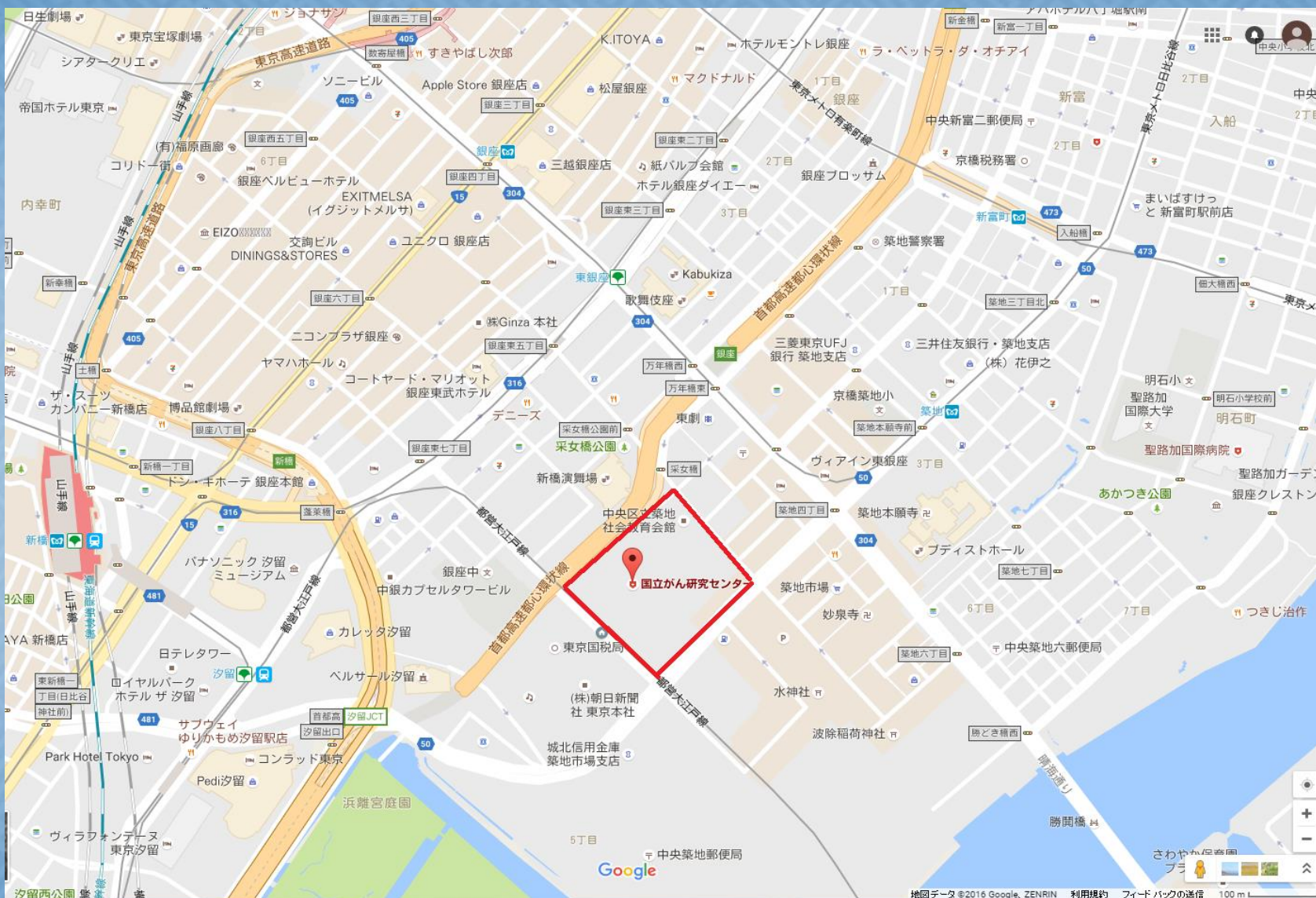
国立研究開発法人国立がん研究センター
企画課長 福田 一行



築地キャンパス
(東京都中央区)

柏キャンパス
(千葉県柏市)









国立がん研究センターの概要

1. 設立

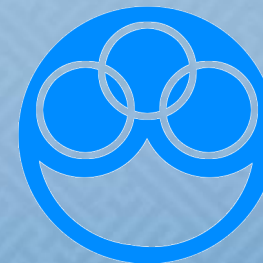
- 平成22年4月1日
- 高度専門医療に関する研究等を行う独立行政法人に関する法律（平成20年法律第93号）を根拠法として設立された独立行政法人

2. 業務

- がんその他の悪性新生物に係る医療の調査、研究及び技術の開発
- 上記の業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修、医療政策の提言
- 上記に附帯する業務の実施

3. 理念

- 患者・社会と協働し世界最高の医療と研究を行う
- All Activities for Cancer Patients
- 職員の全ての活動はがん患者のために！



- ・診療
- ・研究
- ・教育

外側の大きな輪は、患者・社会の協働

国立がん研究センター略史



1962	1月	国立がんセンター設置
1962	5月	病院診療開始 中央病院
1992	7月	東病院開院(千葉県柏市)
2004	2月	がん予防・検診研究センター開所 (現 社会と健康研究センター)
2005	10月	臨床開発センター開所(千葉県柏市)
2006	10月	がん対策情報センター開所
2010	4月	独立行政法人へ移行
2012	9月	早期・探索臨床研究センター(EPOC) 開所(現 先端医療開発センター)
2015	4月	国立研究開発法人へ移行
2016	1月	社会と健康研究センター開所 がん登録センター開所



国立がん研究センターの概要

4. 使命

- がんの本態解明と予防
- 高度先駆的医療の開発
- 標準医療の確立と普及
- サバイバーシップの充実
- 情報の収集と提供
- 人材の育成
- 政策の提言
- 国際貢献

5. 組織

- 研究所
- 中央病院
- 東病院
- がん予防・検診研究センター
- がん対策情報センター
- 早期・探索臨床研究センター

6. その他

- 病床数 1, 003床
(中央病院578床、東病院425床)
- 入院患者数(1日平均)
933人(中央病院536人・東病院397人)
- 外来患者数(1日平均) 2, 541人
(中央病院1, 403人・東病院1, 138人)
- 職員数(平成30年3月1日現在)
3, 300人
(中央病院2,050人・東病院1,250人)
- ※医師540人・看護師1, 060人・
研究員680人・その他1, 020人

組 織 図



中央病院

病院長

副院長

- 診療担当
- 研究担当
- 教育担当
- 医療安全担当
- 将来構想担当
- 医療安全担当

医療安全管理室

感染制御室

共通部門

- 通院治療センター
- 内視鏡センター
- 相談支援センター
- アピアランス支援センター
- 希少がんセンター
- IVRセンター
- 遺伝子診療部門
- 支持療法開発センター
- 検診センター
- 臨床検査部
- 手術室
- 医療連携室
- 栄養管理室
- 診療情報管理室
- 薬剤部
- 看護部
- 放射線技術部
- 臨床研究支援部門

診療部門

- | | |
|--------------|--------------------|
| ● 脳脊髄腫瘍科 | ● 婦人腫瘍科 |
| ● 眼腫瘍科 | ● 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 |
| ● 頭頸部腫瘍科 | ● 皮膚腫瘍科 |
| ● 形成外科 | ● 血液腫瘍科 |
| ● 乳腺外科 | ● 造血幹細胞移植科 |
| ● 乳腺・腫瘍内科 | ● 小児腫瘍科 |
| ● 呼吸器外科 | ● 小児腫瘍外科 |
| ● 呼吸器内科 | ● 総合内科・歯科・がん救急科 |
| ● 食道外科 | ● 麻酔・集中治療科 |
| ● 胃外科 | ● 緩和医療科 |
| ● 大腸外科 | ● 精神腫瘍科 |
| ● 消化管内科 | ● 放射線診断科 |
| ● 内視鏡科 | ● 放射線治療科 |
| ● 肝胆膵外科 | ● 病理・臨床検査科 |
| ● 肝胆膵内科 | ● 先端医療科 |
| ● 泌尿器・後腹膜腫瘍科 | |

中央病院

578 床

医師178人、レジデント(チーフ・短期含)134人

看護師587人

2016年4月1日時点

特色

外来治療

- 1日約1300人ほどの診療を実施(新規・継続)
- 通院治療センター
 - 62床 1日約130人の化学療法を実施
- 高精度放射線治療

入院治療

- 手術室17室、外科手術年間約5400件
- 消化管の早期がんに対する内視鏡を使った根治切除(粘膜切除術、粘膜下層剥離術)
- 2台のAngio-CT装置を用いた最先端の画像誘導下治療
- 造血幹細胞移植
- 緩和医療と患者支援
- 病院に立脚した臨床試験・臨床研究



サイバーナイフ



内視鏡センター
治療室シーリングシステム

がん検診

- 胸部ヘリカルCT, MRI, PET等を用いた高精度な検診
- 年間約3000人が受診



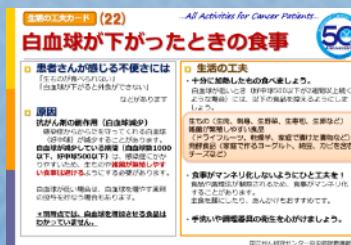
希少がんホットライン



第二通院治療センター



アピアランス支援センター



生活の工夫カード

国立がん研究センターの理念・使命

国立がん研究センターが目指すもの

「がんにならない、がんを負けない、がんと生きる社会」

理念

社会と協働し、全ての国民に最適ながん医療を提供する

使命

- | | |
|----------------------|------------|
| 1.がんの本態解明と早期発見・予防 | 5.情報の収集と提供 |
| 2.高度先駆的医療の開発 | 6.人材の育成 |
| 3.標準医療の確立と普及 | 7.政策の提言 |
| 4.がんサバイバーシップ研究と啓発・支援 | 8.国際貢献 |

スローガン

革新への挑戦と変革 Novel, Challenge and Change

職員の全ての活動はがん患者のために！ All Activities for Cancer Patients



1970年制定

癌の文字からヤマイダレを取り除き
岳とし、これを図案化したもの

内側の3つの輪は、**1.診療、2.研究、3.教育**を、
外側の輪は、**患者・社会との協働**を表しています

研究所

364名の研究スタッフを擁す
国内最大のがん専門研究施設

非常勤160、外来・客員研究員121、コメディカル・事務4名含む
(2016年4月1日時点)



主な業績

1960年代から90年代には

- 食品中の発がん物質ヘテロサイクリックアミンを発見
- PCR-SSCP法の開発 (被引用回数 3,000回 以上)
- 染色体21番のマップを完成し、白血病の原因遺伝子AML1を同定

最近

- 肺腺がんの2%に存在するRETがん遺伝子融合の発見
- 発がん機構・予防・治療に関する国際的共同研究
- 体液中のマイクロRNA解析による新規診断マーカー発見
早期診断、治療効果予測、新規薬剤開発への応用に期待

肝臓がん日本人特有変異

日本のがん患者は、他国と比べて特徴的な変異のパターンがある。肝臓がんは、B型肝炎ウイルスの感染が原因で発生する。国立がん研究センターは、肝臓がんの遺伝子変異を解析し、日本人特有の変異を発見した。この変異は、肝臓がんの発症率を高める可能性がある。国立がん研究センターは、この変異を解析し、肝臓がんの発症率を高める可能性がある。国立がん研究センターは、この変異を解析し、肝臓がんの発症率を高める可能性がある。

遺伝子解析で判明 国立がんセンターなど

肝臓がんは、他国と比べて特徴的な変異のパターンがある。肝臓がんは、B型肝炎ウイルスの感染が原因で発生する。国立がん研究センターは、肝臓がんの遺伝子変異を解析し、日本人特有の変異を発見した。この変異は、肝臓がんの発症率を高める可能性がある。国立がん研究センターは、この変異を解析し、肝臓がんの発症率を高める可能性がある。

がんゲノム情報管理センター



厚生労働省の「がんゲノム医療推進コンソーシアム懇談会報告書」（平成29年6月27日とりまとめ）には、がんゲノム医療実用化に向けた工程として、がんゲノム医療中核拠点病院の整備、ゲノム検査の承認・保険適用に関する検討、研究開発の推進等とともに、がんゲノム情報の集約・管理・利活用を図るために、がんゲノム医療・研究のマスターデータベースである「がんゲノム情報レポジトリ」を構築し、管理・運営する機関を新たに設置することとされ、平成30年6月に国立がん研究センターにがんゲノム情報管理センター（C-CAT: Center for Cancer Genomics and Advanced Therapeutics）が設置されることとなった。

1 がんゲノム診断の質の管理・向上

- 日本人の臨床・ゲノム情報を確保し、我が国に至適化された知識データベースを作成
- 中核拠点病院等のエキスパートパネル活動への貢献
- 全国の集計データに基づくがんゲノム医療の国民への情報提供、行政等への提言

2 情報の共有:

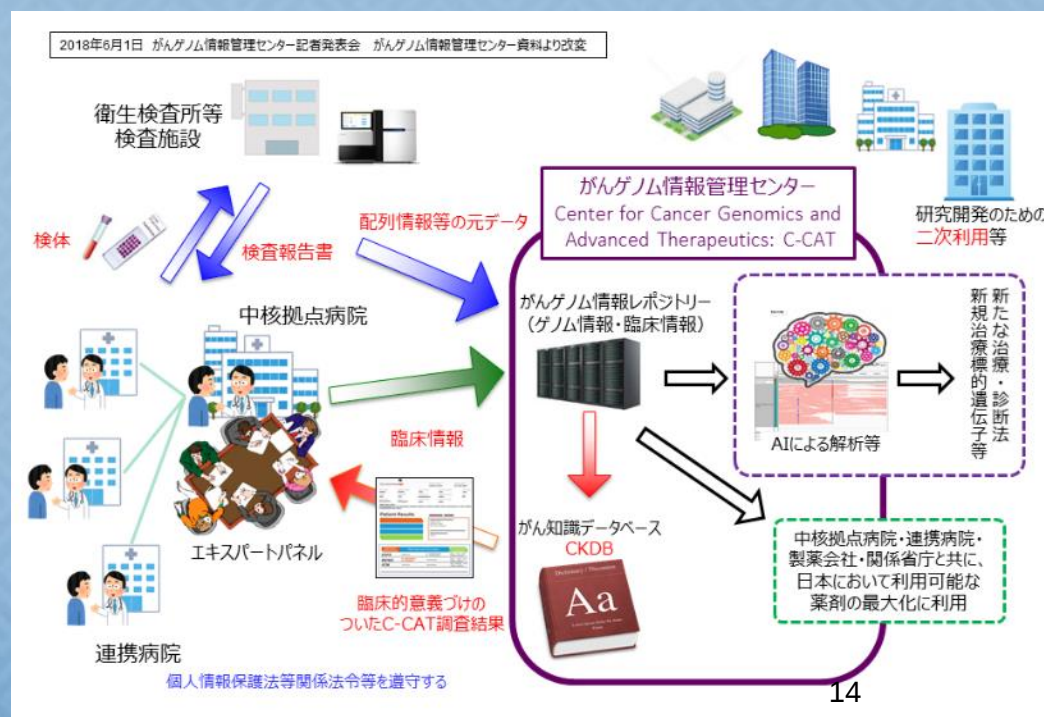
- 中核拠点病院等の間でレポジトリデータベースの情報を適切な取り決めのもとに共有、保険医療へ活用

3 開発研究・臨床試験の促進:

- 臨床試験・医師主導治験等の基盤データとしての活用、企業を含む創薬・個別化医療開発への利活用

4 全ゲノム解析の医療応用に向けた検討・人材育成

がんゲノム情報管理センターの役割



NHKスペシャル

[番組紹介](#)[放送予定](#)[これまでの放送](#)[Nスペeyes](#)[よくある質問](#)[ご感想・
お問い合わせ](#)

NHKスペシャル内を検索

すべてのジャンル



医療・健康



予告動画を見る



放送日時 11月20日(日) 午後09時00分～

総合

がん対策情報センター

2006年10月開設

正しいがん情報の普及とがん医療の均てん化の推進のための対外支援活動

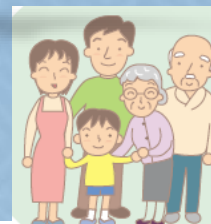
＜7つの機能＞

1. がん登録・がん統計解析の実践
2. がん情報の収集、分析、評価、提供
3. がん診療支援・検診支援
4. がん研修の実施
5. がんサバイバーシップ支援の実践
6. データに基づく政策の立案・遂行の支援
7. たばこ政策支援・提言の実践



情報提供

インターネット
印刷物



患者さん、家族、一般国民

相談

支援

連携

拠点病院等(厚労省指定): 427施設(2016年6月現在)

都道府県がん診療連携
拠点病院

地域がん診療連携
拠点病院



がん相談
支援センター

連携
支援



がん相談
支援センター



本や冊子



ホームページ

知的障がい者雇用導入の経緯

○平成22年4月、国から独立行政法人に組織が変わり、障がい者雇用率が求められるようになった。

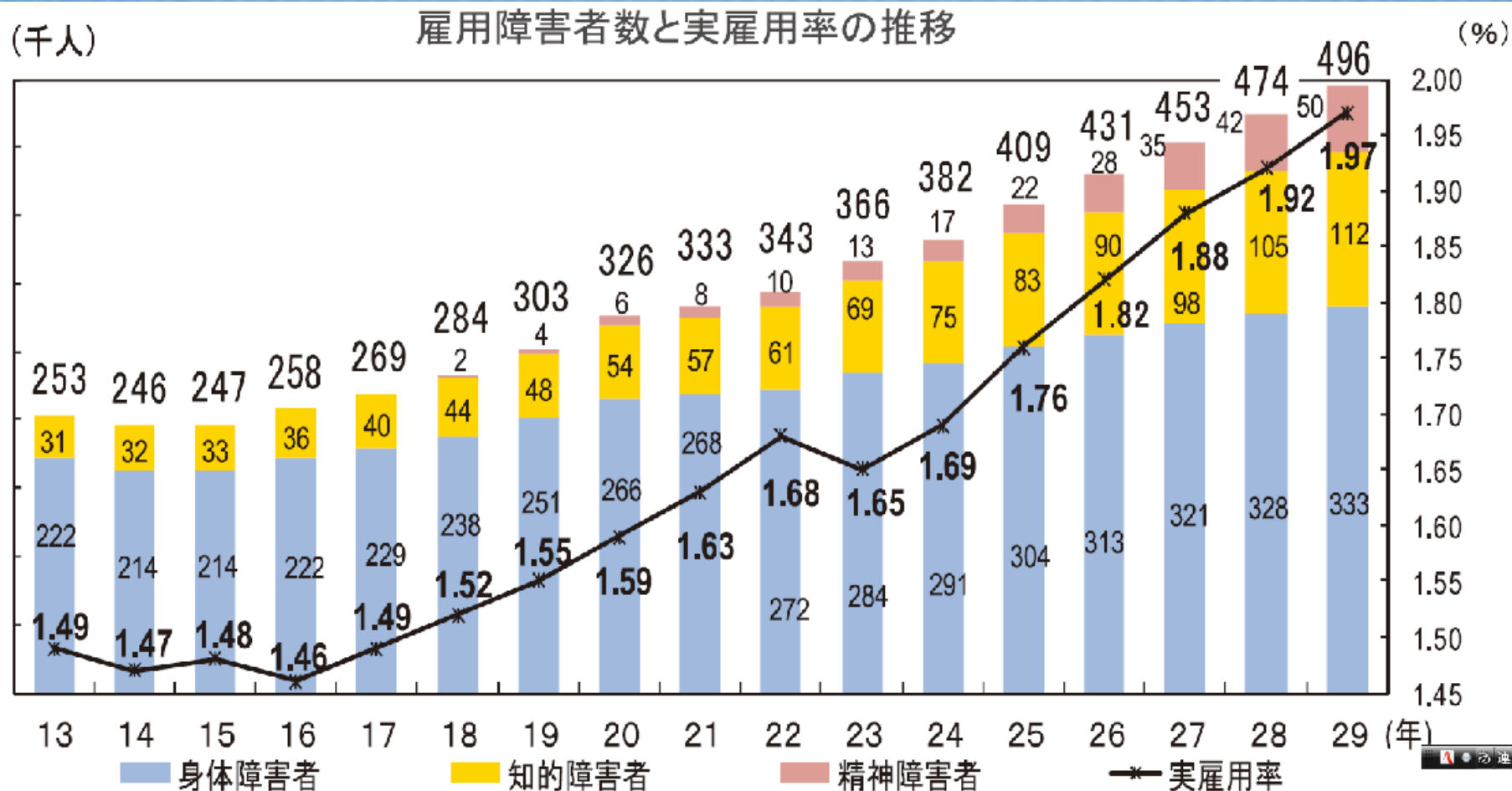
○平成22年6月、雇用率調査で、NCCは雇用率が法定雇用率に達成していないことに気がついた。(0.66%)

当初の対策として……

○まず、始めに職員向けに通知を出し、障がい者手帳取得の有無の確認を調査した。(22年7月)

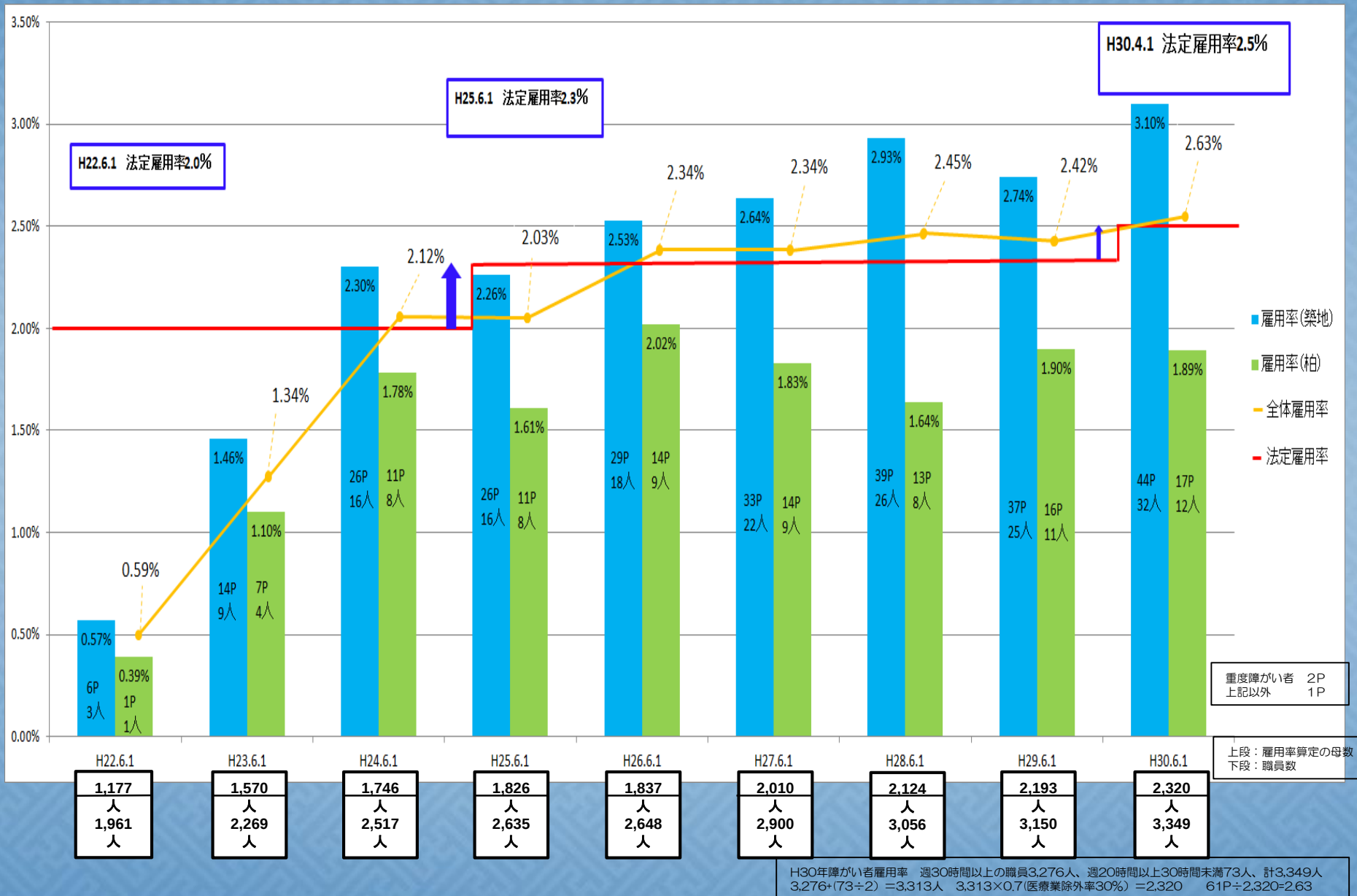
○身体障がい者の雇用を公募(22年8月)

○知的障がい者雇用の現場見学(22年10月)



平成29年6月 厚労省資料

障がい者雇用の推移



日本経済新聞

障害者雇用水増し3460人 国の機関の8割、雇用率半減
2018/8/28 10:04 (2018/8/28 11:48更新)

大半の省庁で障害者雇用率が水増しされていた
(カッコ内は再点検前、雇用率は%)

	人 数	雇用率
外務省	25(150)	0.39(2.47)
環境省	15(46)	0.54(2.33)
文科省	16(51)	0.57(2.41)
国税庁	389(1411.5)	0.67(2.47)
国交省	286.5(890)	0.7 (2.38)
総務省	40(110)	0.76(2.3)
財務省	94.5(264.5)	0.78(2.36)
法務省	262.5(802)	0.8 (2.44)
経産省	52(153.5)	0.81(2.36)
防衛省	201(516)	1.01(2.6)
内閣府	29(56)	1.14(2.37)
農水省	195.5(364)	1.22(2.39)
気象庁	65(112)	1.35(2.35)
全 体	3407.5(6867.5)	1.19(2.49)

(注)人数は障害の度合いや勤務形態により
0.5人分として算入することがある

国の行政機関における平成29 年6月1日現在の障害者の任免状況の再点検結果について

1. 概要

○ 国の機関は、障害者の雇用の促進等に関する法律(昭和35 年法律第123 号。以下「法」という。)第40 条に基づき、毎年、障害者である職員の任免に関する状況を、障害者任免状況通報書により厚生労働大臣に対して通報しなければならないこととされています。

○ この通報に基づいて集計された、平成29 年6 月1 日現在の障害者である職員の任免に関する状況については、民間企業における障害者の雇用の状況と併せ、「平成29 年 障害者雇用状況の集計結果」として、平成29 年12 月12 日に公表していたところですが、この度、国の行政機関における数値に誤りがあることが判明し、今回、再点検を行い、各機関から改めて数値が通報されたことから、平成30 年8月28 日にこれを公表しました(平成30 年9月21 日、一部の数値を訂正)。

○ 再点検の結果、障害者数は6,867.5 人から3,460.5 人減少して3,407.0 人と、実雇用率は2.49%から1.19%と、不足数は2.0 人から**3,396.5 人**となりました。

○**地方を併せると 約9, 000人 の不足。**

国立がん研究センターは水増ししていません。

4 独立行政法人等 [再点検前⇒再点検後]

実雇用率2.45%⇒2.43%雇用障害者数8,663.0人⇒8,625.0人実雇用率の増減(%)

障害者数の増減(人)

不足

数の増減(人)

計	2.45 159.0	⇒	2.43	8,663.0	⇒	8,625.0	(-38.0)	129.5	⇒
国立環境研究所 ⇒	2.80 0.0	⇒	2.80	20.0	⇒	20.0	—	0.0	
国立がん研究センター ⇒	2.42 0.0	⇒	2.42	53.0	⇒	53.0	—	0.0	
国立国際医療研究センター ⇒	1.98 6.0	⇒	1.98	38.0	⇒	38.0	—	6.0	
国立循環器病研究センター ⇒	2.45 0.0	⇒	2.45	29.0	⇒	29.0	—	0.0	
国立成育医療研究センター ⇒	2.48 0.0	⇒	2.48	26.5	⇒	26.5	—	0.0	
国立精神・神経医療研究センター ⇒	2.56 0.0	⇒	2.22	22.0	⇒	19.0	(-3.0)	0.0	
国立長寿医療研究センター ⇒	2.61	⇒	2.61	15.0	⇒	15.0	—	0.0	

国立がん研究センターの障がい者雇用状況

(平成22年6月1日現在)

	築地地区	柏地区	合計
常用労働者数(30h/w以上勤務者) ①	1229人	700人	1929人
短時間労働者数(20～30h/w未満) ②	15人	21人	36人
法定雇用障がい者数の算定の基礎 となる労働者の数 ③(※1)	867人	498人	1365人
必要雇用者数 ④ (③×2.1%(※2))	18人	10人	28人
実雇用障がい者数 ⑤(※3)	5人	4人	9人
(うち知的障がい者数)	(0人)	(0人)	(0人)
雇用率 (⑤÷③)	0. 58%	0. 80%	0. 66%
不足数 (④－⑤)	13人	6人	19人

※1 (①+(②×0. 5))…A ③=A-(A×30%)

※2 独立行政法人の法定雇用率…2. 1%【端数切捨】(民間企業等は1. 8%)

※3 障がい等級が1, 2級の重度身体障がい者については、雇用人数に2を乗じた数とする

※実雇用率

独立行政法人等	2. 11%
国立大学法人等	2. 01%
国立がん研究センター	0. 66%

・郵便仕分け業務等に係る説明会の実施

平成23年1月13日実施

・47施設の支援者が参加



・知的障がい者を理解してもらうための職員対象研修

平成23年2月21日実施



障がい者雇用の業務

◆郵便仕分け配達業務

- ・平成23年4月1日より業務開始
- ・郵便物やメール便等を仕分け、各部署のメールボックスへ入れ届ける



郵便物が届く



郵便物を仕分け、ボックスにいれる



各部署へ配達する

◆郵便発送機業務

- ・各部署から依頼された発送物に印字し、発送する



部署、種類等を入力する



印字する



郵便物の仕分け業務



郵便物の発送業務

障がい者雇用の業務

◆名刺作成業務

- ・平成24年1月10日より業務開始
- ・平成30年2月までに約3500件のご注文を頂いている



名刺作成ソフトに入力



印刷



カット

【名刺表面】



独立行政法人
国立がん研究センター
中央病院〇〇科

医師

築地 太郎

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
TEL: 03(3547)5201 (内線1234)
FAX: 03(3547)1111
E-mail: ttsukiji@ncc.go.jp

【名刺裏面】



National Cancer Center Hospital

Taro Tsukiji, M.D., Ph.D.

Department of 〇〇

5-1-1, Tsukiji, Chuo-ku, Tokyo, 104-0045 Japan
TEL: +81-3-3547-5201 EXT.1234
FAX: +81-3-3547-1111
E-mail: ttsukiji@ncc.go.jp

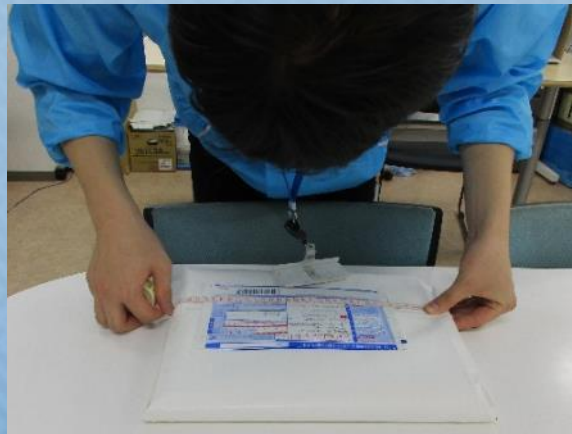
障がい者雇用の業務

◆ナースステーションへの荷物配達

- ・入院患者宛てに届いた荷物をナースステーションへ配達する

◆ゆうパックのサイズ計測

- ・ゆうパックのサイズをはかり、必要事項を伝票に記入する



障がい者雇用の業務

◆点滴用テープカット業務

- ・平成24年4月23日より点滴用テープの納品開始



点滴用テープ
(ロールからカット)



角を丸くカットする



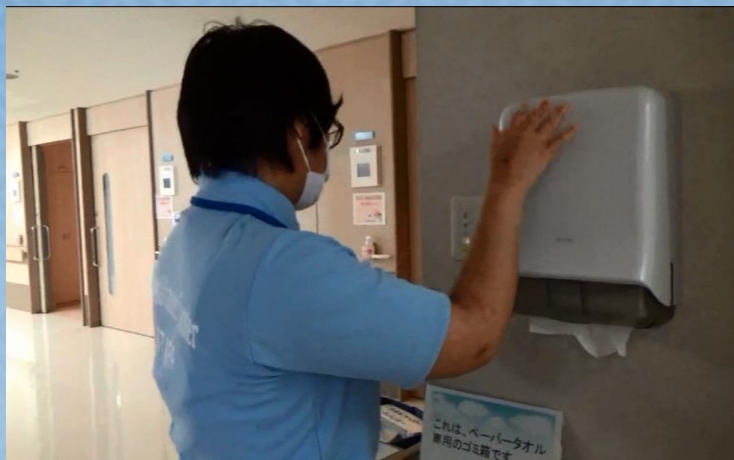
完成品

- ・カットしたテープは電話で注文を受け、ナースステーションへお届けする



障がい者雇用の業務

- ◆病棟ペーパータオル補充 ・平成28年4月1日より業務開始
- ・各病棟に設置してあるペーパータオルの補充をする



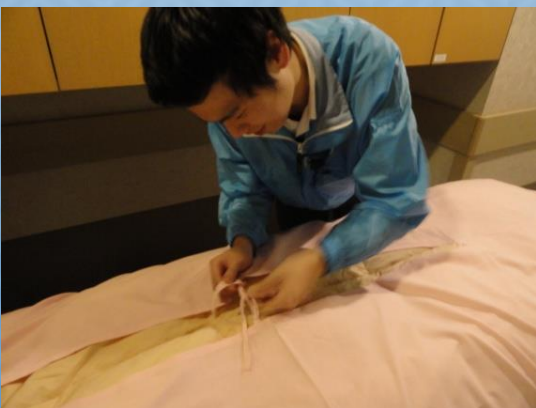
- ◆病棟ペーパータオル回収 ・平成28年4月1日より業務開始
- ・使用済みのペーパータオルを回収する



障がい者雇用の業務

◆リネン業務

- ・平成25年1月28日より11A・B病棟にて業務を開始
- ・患者さんが使用するかけ布団や枕にカバーをつけ、シーツやパッドを用意する
- ・平成29年現在、12病棟で業務開始



障がい者雇用の業務

◆清掃業務

- ・病院の外回り、会議室の清掃をする



障がい者雇用の業務⑥(メディカル班)

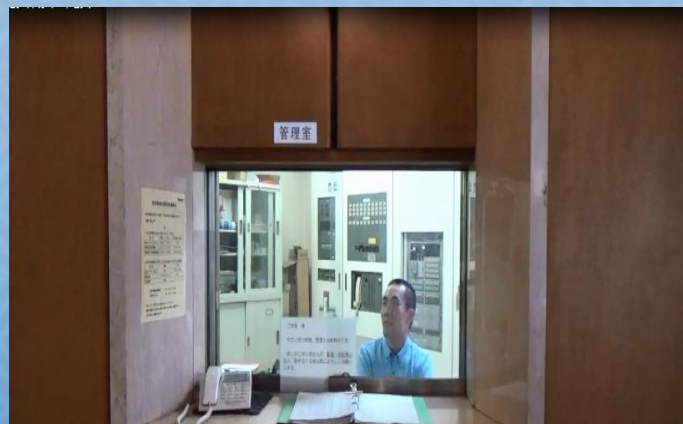
◆職員宿舍清掃

- ・職員宿舍の清掃をする



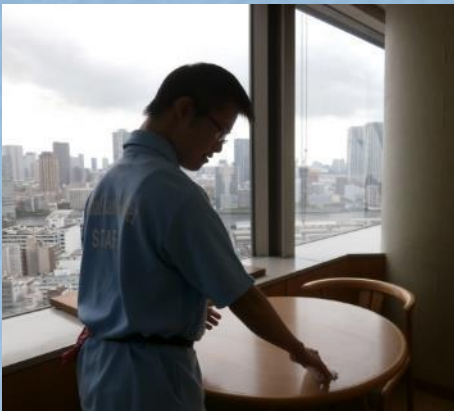
◆職員宿舍管理人業務

- ・管理人の休憩時間に、宅配業者からの荷物の受け取りなど職員宿舍の管理人業務を行う



障がい者雇用の業務

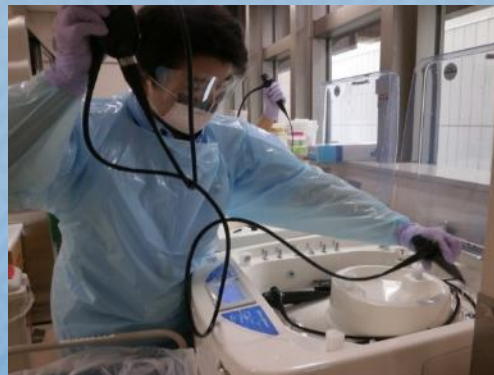
- ・平成26年4月14日より業務開始
- ・17～13階病棟、11階病棟各階のラウンジの清掃
- ・机を拭く、空き缶の片付け、電子レンジの清掃



障がい者雇用の業務

◆内視鏡洗浄

- ・平成26年5月2日より業務開始（看護師の業務を切替）
- ・使用した内視鏡をスポンジで洗い、洗浄機にセットし洗浄する



障がい者雇用の業務

◆メッセンジャー業務

- ・平成27年4月より業務開始（委託業者の業務を内製化）
- ・薬剤が入った台車を11～18階の各ナースステーションに届ける



障がい者雇用の業務

- 総務部での事務業務
パスカードの貸し出し、受付など
- 人事部での事務業務
PDF取り込みなど
- 財務経理部での事務業務
振替伝票のコピー



ビジネスサポートセンターの様子



安定した障がい者雇用を行う為に

- 平成24年度、養護学校の生徒を採用
- 平成25年度から高校2年生のインターシップ開始
- 業務の切り出しが重要
- ジョブコーチの確保

障害者雇用を進める積極的な意義

1. 地域社会に貢献できる
2. 障害のある方へのサービス改善が図れる
3. 業務の効率化が図れ、専門職の負担が軽減できる
4. 職場の雰囲気がよくなる
5. 「人を活かす」文化が醸成される

「専門職に歓迎される障害者雇用」とは？

従来、看護師等の職員が業務の片手間に行っていた作業を切り出し、
障害のあるスタッフが行う業務として
集中・再編成することによって、
雑務から解放され本来業務に専念できる
専門職から歓迎され、
医療機関の業務の効率性が向上するような
障害者雇用

専門職の負担が軽減される

障害者雇用が進んでいる事業所では、障害のあるスタッフが従事する仕事を切り出す過程で、業務の見直し・再編が進み、全体として業務の効率化が進んでいる。

看護師・薬剤師等が毎日行う仕事の中には、国家資格を有する職員が行う必要のないものも含まれており、障害者雇用を始めることで、こうした作業から解放されれば、国家資格を活かす業務に専念できる。

障害者雇用を進めることにより、業務の効率化が進み、職場の働く環境が改善されれば、職員の満足度も高まり、看護師等の離職も減り、新たな人材確保もしやすくなる。医療機関の経営上のメリットも大きい。

業務の切り出し

ハローワークを通じた就職数のうち身体障害は3割に過ぎず、今や知的障害や精神障害（発達障害を含む）も視野に入れた人材確保を考えないと、法定雇用率の達成は難しい。

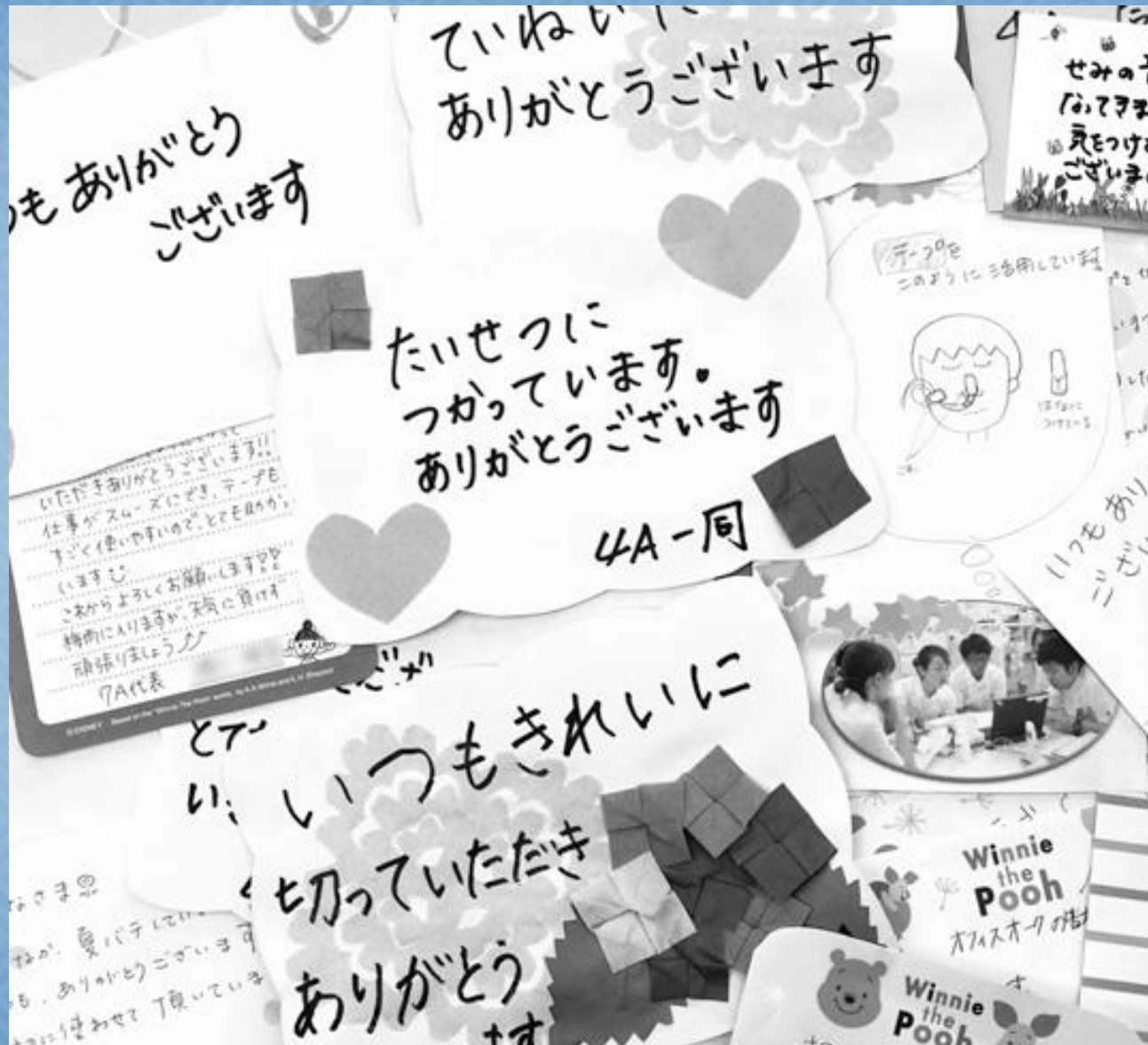
そのためには、業務を再整理して、比較的単純な作業に整理する「業務の切り出し」が不可欠。この過程で、業務の内容が詳細に把握されるため、業務の効率化を進める契機にもなる。

検討段階から看護部長等に参加してもらい、病棟や外来の業務負担を軽減するため、看護師等でなくてもできる単純作業を切り出し、それを障害のあるスタッフの仕事とすれば、「専門職に歓迎される障害者雇用」が自然な形で実現できる。

看護部門の仕事(病棟)

- ベッド清掃・ベッドメイク
- 布団づくり
- 清拭タオル折り
- ストレッチャーの清掃
- 車椅子の清掃、ベビーカーの清掃
- 点滴台の清掃
- 松葉杖の清掃、包帯巻き
- 内視鏡の洗浄
- 手術室の清掃
- ドアノブや床等の消毒
- 手すり拭き、椅子拭き
- ラウンジの清掃、給茶機等の管理
- 病棟等の飾りつけ

業務の効率化という視点



先進事例の見学

- 国立がん研究センター中央病院（東京都中央区）では、他の医療機関で障害者雇用を進める際の参考としていただけるよう、障害者雇用現場の定例見学日を設けている。
- 対象は、障害者雇用を検討している医療機関で、当該医療機関をサポートされる障害者雇用の支援機関の同行も可能。
- 定例見学日は毎月第1金曜日で、事前に連絡した上で、具体的な見学スケジュールを決めていただく。
- 申込先は、国立がん研究センター人事課（03-3547-5201（内線2117））。

ご静聴ありがとうございました。

